



大曲仙北中学校総合体育大会激励会

生中の闘魂を炎と燃やす時は今!

大曲仙北中学校総合体育大会が明日から2日間にわたり実施されることになり、昨日激励会を行いました。S. Aさんの司会で始まった激励会は、旗手のT. Iさんを先頭に選手団が入場、生徒を代表して生徒会長のO. Fさんが激励の言葉を述べました。また、選手紹介、主将の決意表明、各部の主将による選手宣誓が行われ、応援活動ではエール、三三七拍子を行い全校で応援し合いました。更に、生保内小学校の6年生も参加し、心のもった応援をしてくれました。

校長からは、「勝っても負けても、『やり切った』という感動を共有できたという思いを胸に学校に帰ってくることを期待する」と話しました。

〈各部主将の決意の言葉〉

□バスケットボール部主将 S. M

私たちバスケットボール部は、4月から新体制となり互いに支え合いながらここまで頑張ってきました。私は、チーム生保内でバスケットボールをできること、また、K. H先生、K. T先生、家族、たくさんの人たちにも感謝しています。総体では、「やる気をもって、本気で、根気強く」を忘れず勝ちに行くバスケットをしたいです。「出し切った」とチームの皆と言えるように走り抜きたいです。

□ソフトテニス部主将 S. K

いよいよ郡総体がやってきました。昨年の秋から部活が思うようにできず、この郡総体ができるか不安でしたが、開催できることに感謝しています。3年生はこの大会で負けてしまうと待っているのは引退という2文字の言葉です。この言葉から遠ざかれるよう春休みから約3ヶ月間練習してきた成果を存分に発揮してきますので、応援よろしくをお願いします。

□野球部主将 T. K

僕たち野球部は総体に向けて日々の練習に励んできました。僕は練習や試合の内容が全て総体につながっていくと考え、練習でできた課題はチームメート全員で克服できるように練習メニューを考えたり、よい点は継続していきけるように呼びかけたりするなど工夫を重ねてきました。総体では、悔いが残らないようにこれまでの練習の成果を十分に発揮し、最高の仲間と共に全力プレーで試合に臨みたいと思います。

□剣道部主将 H. R

今までは、コロナの影響で大会が中止になり、コロナがなければと思いながら練習をしていました。私は1年生の時、先生と1対1の練習で大会もありできず、久々に大会で試合をしても、気持ちで負けてしまうことばかりでした。今では一緒に練習できる仲間も増え、初めて女子団体を組むことができます。今までできなかった分の悔しさをバネに、チーム一丸となって、これまで練習してきた成果を全て出し切り試合を楽しめるように頑張りたいと思います。

□バレーボール部主将 T. M

私たちバレー部はS. Y先生、教頭先生のご指導のもと練習に励んできました。当日は1回戦中仙中学校と対戦します。中仙中学校は郡市ベスト4に入るくらいの強豪ですが、最後まであきらめずにプレーしたいと思います。2年生ですが、2日目の決勝トーナメントに進めるよう全力を尽くします。

□バドミントン M. G

僕は、これまでの試合を振り返ってみるとミスが多く、動きが遅いためにスマッシュもいい感じに打てず、勝てる試合も負けてしまうことがありました。このことを課題として総体に向け一生懸命練習に励んできました。本番では個人戦に出場しますが、これまで練習してきた成果をすべて出しきり、優勝めざして頑張ってきます。



美術部員が応援ポスターを作成しました



吹奏楽部員が、練習場に行き、一人一人にエールを送りました



選手団入場



生徒会長激励の言葉



選手宣誓



生小6年生の応援



吹奏楽部員



全校応援